

1年 SSH 講演会

平成27年1月15日

1年生については、本年度2回目となるSSH講演会が開かれました。今回は、「感性でとらえる自然災害の科学」と題して、独立行政法人防災科学研究所アウトリーチグループのDr.ナダレンジャーこと納口恭明博士のお話を伺いました。科学をとおして防災に関心を持ってもらうということで、多くの実験を伴う楽しくてためになるお話でした。テレビの取材も入り、講演の助手は同グループのナダレンコこと罇（もたい）優子さんがつとめてくれました。



上：突風実験

下：雪崩実験



上：実験に興味を示す生徒たち
地震や津波は自然現象。被害があつてはじめて自然災害となる。



上：長周期振動実験

下：落石実験及びお礼を述べる生徒

上：液状化実験

下：ナダレンジャーの素顔



様々なミニチュア実験をとおして自然現象のメカニズムを知り、規模を大きくすればどうなるかを想像することで災害をイメージできる。「災害の1日前を意識しよう」と締めくくり、Dr.ナダレンジャーの熱血講演は終了しました。